

JASMA 会報

2013年7月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

第44回定時総会及び第137回理事会開催	1
第44回定時総会懇親パーティー開催	2
三地区連絡会議開催される	3
ソーイング体験コーナーで家庭用ミシンの利用普及をPR	3
第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始	4
お知らせ	4

第44回定時総会及び第137回理事会開催

(平成25年6月6日(木)14:30～経団連会館)



中村和之 会長

当工業会の第44回定時総会及び第137回理事会(総会後)が開催され、ご来賓として経済産業省産業機械課金澤 信課長補佐殿にご臨席いただき、すべての議案が原案どおり承認可決されました。

〈第44回定時総会〉

議題1.～議題4.

平成24年度事業報告・決算報告、平成25年度事業計画・収支予算は原案どおり可決されました。

議題5.～議題7.

一般社団法人への移行、規程の変更、役員(理事・監事)報酬等の総額及び支給基準は原案どおり可決されました。

議題8. 任期満了に伴う役員を選任について

任期満了に伴う役員を選任については原案どおり可決されました。新役員は名簿のとおり。(敬称略)

議題9. 今後のスケジュールについて

主な行事等に関する今後のスケジュールは原案どおり可決されました。

〈理事〉

	氏名	会社名	備考
1	中村 和之	JUKI株式会社	
2	安井 義博	ブラザー工業株式会社	
3	眞壁 八郎	蛇の目ミシン工業株式会社	
4	清水 盛明	ペガサスミシン製造株式会社	新任
5	近藤 章吾	ヤマトミシン製造株式会社	
6	田島 健二	東海工業ミシン株式会社	
7	廣瀬 恭子	株式会社広瀬製作所	
8	湯原 孝志	一般社団法人日本縫製機械工業会	新任
9	阿部 哲也	アイシン精機株式会社	新任
10	山崎 範夫	株式会社アックスヤマザキ	
11	増島 良介	オルガン針株式会社	
12	佐藤 銀治郎	株式会社佐文工業所	
13	岡本 浩	株式会社ジャガーインターナショナルコーポレーション	
14	鈴木 敬造	株式会社鈴民精密工業所	
15	大仁 茂	株式会社ダイニンテック	
16	大原 学	直本工業株式会社	
17	中根 進	株式会社中根製作所	
18	錦織 隆	株式会社日進製作所	
19	大塚 雅之	株式会社ハシマ	
20	原田 啓太郎	ハッピー工業株式会社	

〈監事〉

	氏名	会社名	備考
1	渡辺 豊	株式会社東和製作所	新任
2	志村 和幸		

〈第137回理事会〉

議題1. 会長、副会長等の選任について

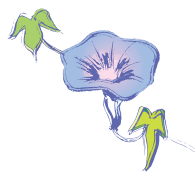
会長、副会長等の選任は名簿のとおり可決されました。(敬称略)

議題2. JIAM2016について

JIAM2016の開催場所は大阪とし、JIAM2016実行委員長は近藤副会長が就任することが可決されました。

議題3. 榎本前専務理事の退職慰労金について

榎本前専務理事の退職慰労金は原案とおり可決されました。



〈会長、副会長等〉

役職名	氏名	会社名	備考
会長・代表理事	中村 和之	JUKI株式会社	新任
副会長	安井 義博	ブラザー工業株式会社	新任
副会長	眞壁 八郎	蛇の目ミシン工業株式会社	
副会長	清水 盛明	ペガサスミシン製造株式会社	新任
副会長	近藤 章吾	ヤマトミシン製造株式会社	
副会長	田島 健二	東海工業ミシン株式会社	
副会長	廣瀬 恭子	株式会社広瀬製作所	
業務執行理事	湯原 孝志	一般社団法人日本縫製機械工業会	新任

〈顧問〉

役職名	氏名	会社名	備考
顧問	山岡 建夫	JUKI株式会社	
顧問	中根 博	株式会社中根製作所	
顧問	美馬 大道	ペガサスミシン製造株式会社	新任
参与	榎本 隆		新任

第44回定時総会懇親パーティー開催

第44回定時総会後に懇親パーティーが開催され、総勢59名の関係者が出席し、盛況に執り行われました。当工業会の中村会長から、①本日の第44回定時総会並びに第137回理事会で会長・代表理事に就任した。これまでご尽力いただいた安井前会長に感謝とお礼を申し上げたい、②縫製機械産業は主力の中国市場のウェイトが縮小する中で、東南アジア・南アジア市場が急速に拡大しており、このような変化に的確に対応していかなければならない、③事業の中心の一つはJIAMで2016年に大阪で開催し、近藤JIAM2016実行委員長の下で成功させるため、関係者のご支援、ご協力をお願いしたい。二つ目は知的財産権保護対策の推進で、後を絶たないアジア地域での模倣侵害に対処するため、政府・関係団体等と連携して取り組みを進めたい。三つ目は家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進で、次世代を担う若い世代に家庭用ミシンを使ったモノづくりの喜び、ソーイングの楽しさを体験していただくため、ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業、ミシンの日事業等を継続して進めていきたい、と挨拶がありました。

引き続き安井前会長から、①長きに亘り会長職を務めさせていただき、感謝申し上げますとともに、中村会長を中心とした新体制にご支援、ご協力をお願いしたい。②印象深い事業として、一つはグローバル化の対応であり、2006年から中国縫製機械協会との交流を年2回行い、関係を強めてきた。二つ目はJIAM事業で繊維・アパレル等の関係業界を取り込み、新生JIAMを成功させることができた。三つ目は家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進で、ホームソーイングによるモノづくりの底辺拡大に寄与できたと思う、と挨拶



須藤課長
(経済産業省)



近藤副会長
(乾杯)



眞壁副会長
(中締め)

がありました。

その後、ご来賓の経済産業省製造産業局産業機械課長 須藤 治殿から、①成長戦略を支える一つは貿易立国であり、二つ目は産業投資立国であるということ、②投資しやすい環境を整備するため、使用できる政策、補助金等は大いに利用していただきたい、とのご挨拶がありました。

挨拶の後、当工業会の近藤副会長の乾杯発声の後、歓談し中締めを眞壁副会長が行い、盛況のうちに終了しました。

三地区連絡会議開催される

平成25年6月10日（月）から13日（木）までドイツ・フランクフルトでTexprocess 2013が開催され、会期中の12日（水）8時より、マリオットホテルフランクフルトで日本、ドイツ、中国、米国の縫製機械業界による三地区連絡会議が開催されました。

当日は、4団体代表の挨拶及び各地域の経済状況、見本市等について意見交換が行われました。当工業会の中村会長から、昨年のJIAM2012成功のお礼に加え、会長に就任したこと、更にJIAM2016実行委員長に近藤副会

長が就任したこと、JASMA事務局体制の変更等について挨拶した後、日本の経済状況を説明しました。その後、近藤JIAM2016実行委員長から、JIAM2016は大阪で開催し、革新的な技術の見本市を目指すこととしており、JIAM2016への出展を期待する旨を説明しました。出席者は、当工業会から中村会長、近藤副会長、廣瀬副会長、湯原業務執行理事他5名、ドイツ・VDMAからVeit副会長他18名、中国・CSMAからYang事務局長他8名、米国・SPESAからGardner会長他7名でした。

ソーイング体験コーナーで家庭用ミシンの利用普及をPR

ー2013日本ホビーショーへの出展ー

ホームソーイングの普及促進を図り、家庭用ミシンに親しむことができる場を提供するため、平成25年4月25日（木）から27日（土）まで東京国際展示場（東京ビッグサイト）で開催された2013日本ホビーショー（一般社団法人日本ホビー協会主催）へ出展しました。

同ショーは日本最大のクラフトフェアとして毎年開催され、今回は122,021人のホビー愛好家が訪れました。今回のテーマは、「つくって楽しむ。集まって楽しむ。外でも楽しむ。」“Hobby Garden”として、手づくりを中心に多くの人々やモノが集まり、楽しい賑やかな場が提供されました。

当工業会は毎年出展し、今回も「ファブリック&ソーイングWORLD」にJASMAブースを出展し、ソーイング体験コーナーを設け、家庭用ミシンメーカー6社による三角ポーチの製作体験を行い、3日間で336名（教材購入のみを含む）が参加し、更に、例年どおり第33回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの優秀作品（32点）を展示しました。初日、2日目は女性のホビー愛好家を中心でしたが、3日目は土曜日ということもあり、親子連れや学生の姿が目立ち、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。



第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象とした「第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」の作品募集が始まりました。詳細については下記の「応募先・お問い合わせ先」までご連絡下さい。

1. 応募部門

- (1) 小学生の部(5・6年生)
中学生、高校生のように作品の種類による部門は設けておりません。
※小物・インテリア作品、衣服作品、リメイク・デコ作品、アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品全てを含みます。
- (2) 中学生の部
 - ① 小物・インテリア作品部門
 - ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門
- (3) 高校生の部
 - ① 小物・インテリア作品部門
 - ② 衣服作品部門
 - ③ リメイク・デコ作品部門
 - ④ アニメ・ゲームキャラクターコスチューム作品部門

2. 応募作品

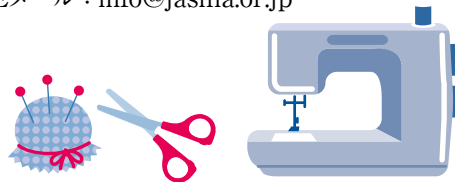
作品は、ミシンを活用して製作したもので、自作で未発表のものとしします。

3. 締切

平成25年10月31日(木)

4. 応募先・お問い合わせ先

一般社団法人日本縫製機械工業会
「第34回作品コンクール」係
TEL. 03-3597-0470
FAX. 03-3597-0477
Eメール: info@jasma.or.jp



お知らせ

●経済産業省 製造産業局 産業機械課の異動

当業界の担当官の異動は次のとおりです。(敬称略)

(新)

(旧)

6月1日付	服部 嘉博	製造産業局 産業機械課 機械システム専門官(ミシン等担当)	消費者庁 消費者安全課 製品事故情報第二係長
〃	石川 邦彦	大臣官房 政策評価広報課 課長補佐	製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械一係長(ミシン等担当)

編集後記

今年の夏は「1000年に1度の“千年猛暑”になる」とテレビ等で言われていた通り、本当に暑いです。会員の皆様、暑さで体調を崩さぬようお気をつけてお過ごし下さい。

さて、第44回定時総会及び第137回理事会で中村会長を中心とした新体制となりました。引き続き皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、第34回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの作品募集を開始しました。皆様からの素晴らしい作品をお待ちしております。(K.M.)

JASMA 会報

Vol.10 No.2 2013年7月31日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者: 湯原 孝志

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-12
TEL. 03-3597-0470 FAX. 03-3597-0477

URL <http://www.jasma.or.jp>
Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、発行後、当工業会ホームページに掲載しております。